

1 参加者 学校協議会委員 4名, 校長, 学校事務局 6名

2 報告概要

① 平成29年度学校経営計画：達成状況報告

《全体説明》

不易と流行を1つの視点として今年度実施しました。

☆「学校生活全般」・「学習指導等」

・「学校に気軽に相談できる(保護者への質問)」(全般的質問及び進路に特化した質問)が5%、「授業が分かりやすい(生徒への質問)」が3%とそれぞれ増加しました。

(%は主に「学校教育自己診断」結果で昨年度比。以下も同様)

☆「生徒指導」

・「生徒指導方針に納得できる(生徒・保護者への質問)」が、保護者・生徒ともに減少しました。今年度よりスマホ、携帯指導として“休み時間も使用禁止”が原因と考えられます。

☆「学校運営」

・「学校運営に教職員の意見が反映されている(教職員への質問)」が10%、「各分掌や各学年の連携が円滑(教職員への質問)」が13%とそれぞれ減少し、課題と考えています。

☆「進路指導の確立」

・「将来の生き方を考える機会がある(生徒への質問)」が5%、進学講習を実施した教員の割合が8%、センター試験出願率が7%とそれぞれ増加しました。

また「3点チェック」・大学訪問・教科担任面談(7月、11月)を実施しました。

☆「授業力の向上」

・食堂を同窓会の全面協力によりリニューアルし、自習室機能を持たせました。「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある(生徒への質問)」が5%増加。「授業に興味・関心(生徒への質問)」ほぼ増減なし。

☆「人間性の育成」

・「集団のルールを守っている(生徒への質問)」12%減少。「学級担任以外の教員とも相談できる(生徒への質問)」6%増加。部活動加入率は減少。遅刻数は年度途中ですが、前年度より減少状態。

《進路指導》

・2月3日(土)に今年度2回目の1,2年全員対象の全国模試を校内で実施しました。11月の第1回模試後、「模試結果検討会」を実施し、そのデータや分析の内容をもとに担任が生徒を指導しました。また、教科によっては“やり直し”を行いました。

センター試験出願者が増加し、成績も全国平均に近づきました。

《授業研修》

・この1~2年、自分の教科を越えて授業見学を実施する、という観点で取り組んでいます。

第2回目の授業研修では、授業見学者が分散しないよう、公開授業担当者を絞って行いました。内容としてはアクティブラーニングをテーマとして実施しました。

他教科の授業を見学することによって新たな気づきがあり、特に若手教員による授業指導は新しい取り組みがあり、大いに参考となりました。

今後は他教科の授業見学に関する研究協議にも積極的に参加してもらう予定です。

《遅刻指導》

・学年が進行すると遅刻者が増加する傾向になります。しかし、年度が変わっても同じ学年では減少傾向にあるため、全体としては、年度ごとの合計で減少傾向となっています。

学年進行とともに増加するのは受験勉強の影響が一因だと考えられます。学校生活全体をどう捉えて過ごすかが課題だと思います。

・通学マナーの件では、まだまだ生徒による“周りへの気配り”が不足しています。12月に重点的に自転車通学の向上のため、必要に応じ自転車預かり等の指導を行いました。今後、地域住民の方々への“心配り”をどう指導するかが課題と考えています。

《特別活動：部活動、刀根山サミット等》

・部活動加入率低下及び途中退部する男子の増加が問題です。女子が多くの部活動で中心となってきています。本校のクラブ全体としての活動内容、成績等の低下は認められません。

・刀根山サミットでは、文化祭での化粧、指定セーター、アルバイト等が議題となりました。

・今年度の文化祭は例年よりレベルアップしたものとなりました。

《地域連携・メルマガ・説明会・対応マニュアル》

- ・地域連携は今年度も文化部・運動部の部活動中心に行っています。また、家庭科の授業において、子ども園・保育園での実習も行いました。
- ・メルマガは基本週1回、学校での各種教育活動・学校方針・部活動等を配信しています。現時点で44回配信し、登録者は約1640名で在校生の保護者数を大きく超えています。
- ・今年度の大部分の学校説明会（本校・教育庁・中学校・塾主催等）では、前年度より参加した中学生と保護者が増加しています。
- ・今年度「大規模災害対応マニュアル」を教育庁の指示で作成しました。大規模災害発生時に本校が地域住民の方々の避難所となった場合の対応概要を示しています。今後は地域自治会等と情報共有や協議が必要と考えています。

② 学校経営推進費事業：「刀根山・里山活用プロジェクト～人を育てる拠点として～」

- ・3年計画の本プロジェクトは今年度が2年目です。①樹木名プレート設置が進みました。②「ワークショップ：高大連携」－今年度も兵庫県立大学と神戸女学院大学の2大学と提携しています。11月18日（土）に石田弘明 兵庫県立大学教授による「市街地の里山林について～保全と活用」の講演、11月19日（日）遠藤知二 神戸女学院大学教授と大学生による実習「ハチ類の竹筒トラップ調査」を生徒や教職員、地域住民の方々の参加で実施しました。③「ワークショップ：地域連携」－今年度後半では11月3日（金）ドングリの種類集めとドングリ団子づくり、11月26日（日）芋煮会・里山体験等を行いました。

このように裏山を利用して地域の大人そして大学関係者と本校生が「斜めの関係」で接し、その中で色々な刺激を受け、自尊感情や進路意識を高めることを本プロジェクトの大きな目標としています。

③ 「刀根山 夢の扉プロジェクト」

- ・同窓会の協力の下、食堂の壁・天井・床のリニューアル、蛍光灯更新、ロールカーテン及び新しいテーブル・イスが搬入され、11月にリフォームは完了しました。その後、自習室としての利用を開始しました。利用者が少ないので、今後生徒へ周知していく必要を感じています。

④ 「校則」

- ・府教育庁通知により現在、校則・指導規程等の見直しを行っています。「不適切な部分」はありませんが、教職員並びに生徒達の意見を反映させ、さらに現状に合った校則・指導規程になるよう改定を行っています。学校協議会委員の皆様からのご意見をいただきたいと思っております。

⑤ 「学校教育自己診断」結果

- ・概要は先ほど校長から報告がありましたが、自由記述においてトイレ改修の要望やノークラブデーの適切な運用等について指摘がありました。

トイレについては今夏、校舎中央部分の1階から4階までを全面改修します。ノークラブデーに関しては、全クラブで確認しており、確実に実施をするよう指導しています。

3 協議概要

《トイレ》

- ・生徒、保護者からトイレ改修の要望が多いとのこと。自分もそう思う。今夏の改修では温水式に替わりますか。
A. はい、今夏に校舎の1～4階の中央部トイレで温水式、洋式化します。

《刀根山サミット，食堂》

- ・刀根山サミットで食堂でのチケット購入が大変との話がありました。改善されましたか。
A. 現時点では3年生が登校していないので、混雑はあまり見られません。しかし、食堂業者へは適切な対応を求めたいと思います。
- ・食堂にストーブが2台しかないのですか。
A. 新たに2台購入し4台としました。しかし、ガス栓を修理する必要があり、近日中に工事は終了予定で4台とも使用できるようになります。

《校則》

- ・校則検討はどうなっていますか。

A. 生徒会執行部内でも検討してもらい、アルバイトや携帯電話について意見が出ました。それらの意見を踏まえ、校則をより合理的なものに改定していきます。

《クラブ活動》

- ・後援会は主にクラブ活動を支援する組織です。「後援会内規」で遠征費補助などをやっています。今回の女子バレーボール部の1部昇格のような事例にも援助していきたいと思っています。また、文化部への支援もしていきたいと考えており、今後はより多面的に学校をバックアップしたいと思っています。

A. 活動成果を評価するのは難しいですし、近畿大会レベルなど一定以上の成果をあげるのも、各クラブにとってなかなか難しい状況です。

好成績のクラブをバックアップする発想だけでなく、「好環境づくり」の方にウエイトをとり、バランスを考え直す時期ではないかと。

後援会の支出は「教育活動助成金」が主なものです。遠征は年1回程度、目立つクラブだけでなく他のクラブもできるだけ支援したいと思っています。今後、もっと学校と情報交換を密にしていきたいと思います。

《里山活用》

- ・授業での活用の中身はどのようなものですか。

A. 3年生物の授業で「里山の植生」に関して実習を行いました。また、3年家庭科の授業では「里山にある食材」を採取し、調理しました。

4 その他

次年度より「学校運営協議会」へ移行します。

☆次年度、第1回学校運営協議会は5月21日（月）午後2時からを予定